

[専門教育科目/看護の統合と発展]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
医療安全論	NSP44_005	選択	1	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
小林 美雪	407	m.kobayashi	振り返り用紙及び授業中のメールによる質問等の受付		
授業の目的・概要	<p>安全確保は、医療・福祉に従事する全ての職種にとり基本的な責務としてある。平成18年医療法において、「医療の安全の確保」が法制化された。それに連動して看護職養成のためのカリキュラム改正においても医療安全の基礎的知識の習得が位置づけられた。</p> <p>本授業においては、これまでの各論授業や臨地実習で学んだ看護を「安全」の観点から検討を加え、看護職としての医療・福祉の場での安全確保の責務とそのための具体的な方策について、授業資料とメールによる遠隔授業により学ぶ。授業評価は、最終レポートとポートフォリオにより判定する。</p>				
学習上の助言	近年の看護師国家試験で設問が増えている医療・福祉の場での安全の問題を意識的に取り上げる。各自でも新聞やテレビ等の医療事故等の報道について意識的になることを望む。				
教科書	ナーシング・グラフィカ看護の統合と実践(2) 医療安全 第3版 / 監修：松下由美子他 / メディカ出版				
参考書	授業の中で提示する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護の法的規定と医療安全について説明できる	NS(1)(2)			
②	事故発生メカニズムと事故予防、事故発生後の対応について説明できる	NS(1)(2)(3)			
③	看護における医療事故と安全対策について説明できる	NS(1)(2)(3)			
④	医療安全施策と医療安全管理者の役割を理解できる	NS(1)(2)(4)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	看護の法的規定と医療安全について学ぶ	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した課題を行いポートフォリオにする。	2	
2	事故発生メカニズムとリスクマネジメントの実践を学ぶ①	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した課題を行い、ポートフォリオにする。	4	
3	事故発生メカニズムとリスクマネジメントの実践を学ぶ②	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した課題を行い、ポートフォリオにする。	4	
4	看護における医療事故と安全対策について学ぶ 看護学生の実習と安全について学ぶ	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した課題を行い、ポートフォリオにする。	4	
5	医療事故後の対応について学ぶ	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した課題を行い、ポートフォリオにする。	4	
6	安全文化とはなにか 医療事故防止の方法を学ぶ (KYT・5S)	同時双方向型授業	授業内で提示した課題を行い、ポートフォリオにする。	4	
7	医療安全施策と施設での医療安全管理体制および医療安全管理者の役割について学ぶ	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した課題を行い、ポートフォリオにする。	4	
8	医療安全についての各自の考えの変化と臨床での取り組みについて考える。	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した課題を行い、ポートフォリオにする。	4	
試	達成度評価・評価のポイント参照				

[専門教育科目/看護の統合と発展]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	80	0	20	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	40	0	10	0	50
	思考・推論・創造する力	0	20	0	10	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
		0	20	0	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
レポート	①	✓	最終レポートにより、授業内容の理解および学生自身の考え方が明確に表現されているかを 80%評価する。				評価後に振り返りの時間を持つ。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①	✓	授業内で提示した課題および自己学習内容を 20%評価する。				評価後に振り返りの時間を持つ。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
その他	①						
	②						
	③						
	④						
備 考							
担当教員：◎小林 美雪							
<p>教員の実務経験：看護師として23年の臨床経験、厚生労働省で2年勤務し医療安全対策の法制化を所掌していた。</p> <p>実践的授業の内容：実務経験のある教員の指導のもと、医療安全の基本的な知識について理解を深める。教員の経験からの実践事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。</p>							
<ul style="list-style-type: none"> Teamsを使った同時双方向型授業および印刷教材とメールによる質疑応答での授業を行います。 Teamsを使った同時双方向型授業に際しては、通信容量が無制限のWifi環境を推奨いたします。 新型コロナウイルス感染症の状況などの社会情勢により再度シラバスの変更があることも考えられますが、その際は随時、お知らせいたします。 							